

質疑応答(要約)				
	11月22日 西コミュニティセンター		11月23日 南コミュニティセンター	
	質問	回答	質問	回答
1	希少猛禽類に対する配慮方針	希少猛禽類に関する環境省ガイドライン(H24.12_猛禽類保護の進め方(改訂版))に則し、生息環境へ配慮した事業計画を検討する	風力は反対ではないが [古道からの見え方の確認]と[古道団体との意見交換]を要望する	地元専門家との立ち合いを通して 場所を教えていただきたい
2	・SNSへの掲載不可理由及び 会社HPへ動画掲載要望 ・フォトモニタージュの[気にならない程度] は主観ではないのか、南東屋からの[主眺望方向範囲]の条件	・音声や映像(写真)は肖像権及びプライバシー権の侵害になることから不可とし、HPへは動画に音声が入ることから参加者全員の承諾が前もって必要となるため不可とした ・環境省ガイドライン(H25.3_[国立・国定公園内における風力発電事業の審査に関する技術的ガイドライン])から引用している	地域貢献策はどう考えているか	一次産業・観光業への寄与 地元企業への経済的な効果 地元雇用の機会提供 環境学習の場への活用 古道関係への貢献等を検討している
3	・奥瀬放牧場を削除した経緯	奥瀬放牧場や八甲田からの景観及び周辺の住環境に配慮し削除した	落雷対応及び火災対応	・雷対応として翼の先端に避雷針があり、 地面に流す設計となる ・火災対応として検知器が内蔵されており 自動消火装置にて対応する
4	[南東屋からの主眺望方向範囲]に対する範囲追加の要望	眺望方向は御鼻部山から八甲田の範囲で検討しており、今後も検討を進めていく	(フォトモニタージュにある) 十和田ホテルよりも高い建物を周りに建設することはできないのか	国立公園管理者の判断による
5	知事意見に対する 南東屋の[眺望点・人触れの場]および 戸来岳の[眺望点]追加検討状況	四季を通じて利用実態を調査した。結果を踏まえて検討を行う	基礎打設による水源地への影響	地質調査を行い、浸透状況を確認し、アルカリ成分が流出しないような施工を検討する
6	・ブレードの長さについて ・輸送の際に道幅は足りるのか	・60m程度のブレードとなる ・ブレードは上下に動かしたり 道路形状に応じて運搬する	[南東屋からの主眺望方向範囲]に対する範囲追加の要望	眺望方向は御鼻部山から八甲田の範囲で検討しており、今後も検討を進めていく
7	・関係機関は市・県のみではなく 広い範囲での意見交換を求む ・[八甲田からの眺め]も稜線を 分断しているのではないのか	・関係団体との意見交換も進めている 意見として頂戴し、今後検討する ・環境省ガイドライン(H25.3_[国立・国定公園内における風力発電事業の審査に関する技術的ガイドライン])およびご意見を参考に「どこが主要な眺望方向となっている稜線か」を分析しその範囲の稜線を切断しないよう配慮を続けていく	・稼働期間が20年の理由 ・撤去する際の原状回復について	・固定価格買取制度に基づく期間である ・弊社で責任をもって原状回復を行う
8	・基礎の原状復旧について ・事業者が倒産したらどうなるのか ・自然災害に風車が耐えられるか	・弊社で責任をもって基礎の撤去を行う ・金融機関からも厳密に事業性を判断されることから倒産可能性は最小化されており、万が一倒産するようなことがあっても、後継事業者を引き継がれる ・台風にも耐えられる風車設計となる	青森県知事の発言(保安林の改変) について事業者の考え方はいかがか	保安林についても、既存林道を活用し、改変面積を最小限にすることを検討している
9	国立公園から少し離れてはいるが ここを事業地として選定した理由	種々事業可能性を検討し選定した 牧場からの景観配慮・牧場との共存を検討するとともに 地域への共生・活性化を提案したい	輸送路の必要幅員について 輸送路設計における伐採本数の見積	林道の必要幅員については事業者側のみでは判断できず、関係機関との協議によって今後検討する 既存林道等を活用し改変面積を最小限とする 森林の保水力を高めるため、植林などの地域貢献を検討していく
10	話を聞く専門家の名前の公表を要望	国のルールにより、アセス図書へは所属機関のみの記載となる	今後も説明会の開催を希望する	小規模での意見交換会の開催を検討する、また大規模の集会については準備書時の住民説明会を開催する
11	昨今の電力状況から風力発電は必要 牧場は誰も来ないのが現状 道路の活用による畜産業振興への寄与 古道について関係者から聞き取りを行うこと	意見として頂戴する	・20年後の撤去の確実性 ・ここを事業地として選定した理由	・撤去は確実に ・再エネは国が進めている政策であり、地域貢献策・地域共生も検討していく
12	説明会後のメール問い合わせの可否	個別対応や小規模の意見交換会も検討する	・準備書前の説明会の追加要望 ・南東屋の景観調査の立ち位置 追加調査要望 ・他風力事業との累積影響について (バードストライク、渡り)	・計画が大きく変わった場合、住民説明会の開催を検討する。 その他では小規模での意見交換を検討する ・南東屋付近の他立ち位置からの調査は 実施中である ・他事業へ情報提供を依頼し累積影響評価を実施する
13	・質問時間が足りない、別日でも要望する ・誰のため、何のための事業か	・意見として承る ・地域の為となるよう地域貢献が重要だと考えている 再エネ事業者として社会的役割を担うための事業だと考えている	合意形成の判断基準	調査・意見交換を踏まえて判断する